



# 東京金山会通信 No.46

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)  
☎080-5525-0435  
✉fujijama.d.siren@ae.auone-net.jp

## 「最上地域ふるさと連合会」総会に参加しました

去る、令和4年11月26日、アートホテル日暮里・ラングウッド(東京都荒川区)において、最上地域ふるさと連合会総会が開催されました。

最上地域ふるさと連合会は山形県人東京連合会の加盟団体で、東京金山会は本連合会へ参加しています。これまで年1回、総会が開催されていましたが、コロナの影響により、3年ぶりの開催となりました。

新庄市をはじめ、最上地域8市町村の自治体・各ふるさと会の関係者が参加し、金山町からは佐藤英司町長、矢口政一町議会議長が来賓参加されました。東京金山会からは同連合会相談役・阿部保吉さんはじめ、役員4名が参加しました。同連合会全体としても、3年ぶりに一堂に会する総会となりました。

総会では、連合会佐藤正明会長、山形県関係者の来賓から挨拶があり、最上地域全体を連合会と連携しさらに盛り上げ活性化へ貢献していくことがあらためて確認されました。総会後の懇親会は、3年ぶりの開催ということもあり、仲間との久々の交流を楽しむ機会となりました。

各ふるさと会も昨年から活動を再開しており、東京金山会としても「かねやま市」のような独自の取り組みを紹介するなど、今年はより一層、各関係団体と連携していければと考えています。



▲総会会場の様子



▲懇親会で交流を深めた参加者の皆さん

## No.204 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『トゲトゲくんはね、』  
(フオン・ジャギオン/作  
ハワン/絵  
パイインターナショナル)

『ぼくはトゲだらけ。ぼくはいちばんおおきくてするどいトゲにするんだ。そしたらだれもぼくに手を出さない。ぼくとしゃべろうとする人もいない。ぼくの方から近寄ることもできない。だからぼくはひとりぼっち。トゲがなくなったらぼくも笑える…?にっこり笑顔で言いたいことがあるんだ』【怒り】は一見攻撃的に見えますが、そのもとをたどれば自己防衛の感情です。トゲトゲくんは本当は心優しく繊細で傷つきやすい子です。怒ることで無意識のうちに自分を守ろうとします。トゲを抜いて勇気を出して話し掛けてください。コミュニケーションが苦手な人たちに勇気を与える絵本です。



※( )内作者名

ギネス世界記録2023 (フレイブ・グレンディ)  
香君上 (上橋菜穂子)  
香君下 (上橋菜穂子)  
光のここにいるね (一穂ミチ)

『月の立つ林で』  
(青山美智子/ポプラ社)  
つまずいてばかりの日常の中、それぞれが耳にしたのはタケトリ・オキナという男性のポッドキャスト『ツキない話』だった。  
似ているようでまったく違う、新しい一日を懸命に生きるあなたへ。  
月に関する語りにも寄せながら、彼ら自身も彼らの思いも満ち欠けを繰り返し、新しくてかけがえのない毎日を紡いでいく。



『にゃんこ四字熟語辞典』  
(西川清史/飛鳥新社)  
世界中から集めた激カワにゃんこ写真に四字熟語のツッコミが！大胆不敵、一心不乱、無我夢中。可愛いにゃんこ写真と合わせてみれば、いかめしい漢字の羅列がとつてもユーモラスに見える。子どもたちが四字熟語を覚えるのにも役に立つかも！猫好き必見。かわいいにゃんこの姿は垂涎ものです！



今月は9冊！

ザリガニの鳴くところ (ディーリア・オーウェンズ)  
教誨 (柚月裕子)  
91歳の現役医師がやっている一生ボケない習慣 (松原英多)  
本当の自由を手に入れる お金の大学 (岡リベ大学長)  
クタクタな心と体をおいしく満たす いたわりごはん (長谷川あかり)

## 環境と雰囲気



金山町  
集落支援員

集落支援員  
菅 一生

中央公民館では12月1日〜2月1日までの期間に「スタンディングタイムプロジェクト」を実施しました。スタンディングタイムプロジェクトとは、デスクチェアをバランスボールに替え、10時と15時にストレッチを行う取り組みです。来庁された際にバランスボールに座っている私たちを見かけて気になった方もいらっしやるのではないのでしょうか。健康増進を大きく前に推し進めていこうという町の取り組みに、中央公民館の職員が団結してチャレンジしました。自身の体がどう変化したかを気にしてしまいがちですが、日常生活から健康への意識を持ち、アクションを継続することが大切なのだとこのプロジェクトで感じました。また、今回のプロジェクトの様に運動に取り組みやすい環境づくりや、雰囲気を準備する事も健康な町づくりのために大切な要素だと学ぶことができました。先月からは改善センターの多目



スタンディングタイムプロジェクトの様子



Facebookで活動を発信しています！ぜひチェックしてください！

## ぶんげい

### 金山杉俳句会報 第四七二回

星川 キエ子

孫帰宅俄かおでんに具の足され  
冬温し大慈大悲の限りなく

岸 あき子

膝に来て忽ち寝息炬燵の児  
湯婆に脚を揃へて睡りけり

高橋 洋子

新手帳買ひてワクワク暮の街  
迎春に少し早めの大掃除

鶴沼 よし子

除雪車が路肩に散らす雪の花  
切株に杣の屋簷の牡丹餅

阿部 一代

悪しき事然程無くして年暮れる  
白きもの降りて山里冬に入る

栗田 弥超

山茶花の咲みて出向ふ湯治宿  
雪吊の影逆しまに水鏡

### かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子

ひとりごと思案に暮れる冬紅葉  
春見へぬコロナ終息願ふ日々  
ほんのりと肌沁みいる柚子湯かな

荒屋 関 喜美子

来る年も一喜一憂越へる坂  
一年の息災願ふ柚子の風呂  
静けさや明けて三日の無氷林

菅越 庄司 けみ子

つかの間や一陽来復春の山  
暮早し急ぐ我家の遠灯り  
山里や一夜に積もる雪の嵩

七日町 青柳 キエ子

師走空どこへ帰るや渡り鳥  
降る雪に狭庭の植木衣替  
鳥も来ぬ畑に残りし木守柿

七日町 柴田 栖静

年の瀬や明日を頼みとえりた  
来る年を幸せ願ひ手帳買ふ  
除夜の鐘重き響に手をあわす

上台 阿部 一步

初夢は老楽飾る恋の文  
コロナ禍や待てど暮らせど冬の空  
春待つや崩れ体に八十路坂